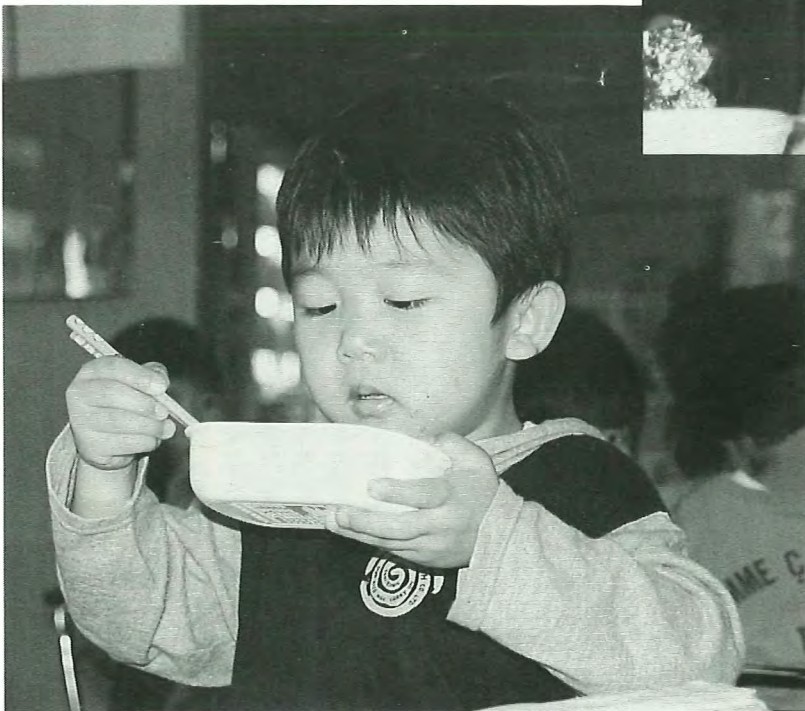


# 西別院だより

## お盆号

かわかみ ゆい  
川上 裕依 ちゃん (5才)

平成元年6月25日生  
(若竹保育所)



さかもと けんと  
坂本 健人 くん (4才)

平成2年6月8日生  
(若竹保育所)

お盆まいり

各家には8月7、8、9、10、11、12日にお詣りさせていただきます。  
(お盆まいり期間中の護持費は翌月に御進納下さい)

納骨堂の読経

8月13、14、15、16日 朝8時～夕方7時まで。  
(期間中、仏花は本堂受付前で販売します)

月忌詣り

8月7～17日までお休みさせていただきます。ご理解下さい。



# 雑感

輪番 藤澤 實晟



お盆を迎える季節となりました。昨年は特に冷害で全国的にお米の不作、米騒動と言えような変革的な世の中で、不安定な生活活動の昨今ですが、皆さんのご家庭でお内仏様へお仏飯を毎日お供えして頂いたでしょうかね。

聖徳太子様は「世間虚仮、唯仏是真」と説かれておられます。よるべとなる唯一の世界を、仏の真実の世界にみいだされていられるのであります。ある御門徒さんが、「朝な夕な飯食うごに思ふかな」  
恵まれる身に恵まれる我」  
昨今いろいろ感じる思いの中で、街や車中で若者からぶつかられる事の多いこと、先方はぶつかってもあまり感じないのでしようか。「失礼」とも何とも言わない、その上大きなバッグがやたらはやってるのではありませんか。接触する率も高くなっているように思えます。接触することに何とも感じないので、彼らの無礼はいつもだから感覚が鈍っているのでしょうかね。又同じ意味なのか大声で話す習慣でもあるのか(又若くて耳が遠い

のか、カセットテープの聞きすぎか)。傍若無人な大声の話し方。レストラン、喫茶店でも同様、エチケットとは隣席の人に聞こえる程度の声の出し方が礼儀だと思いませんがね。

此の人々がお盆を迎えに電車、又は自動車で大移動。「ああ我がふるさと」に向かつての旅、そしてお墓参り。「ふるさと」を大切に思う気持ちは有り難いが、お盆に帰られる、真に幸せ。人生の旅路の喜び、家庭団欒の出来る喜びは、これ唯仏是真であればこそです。

親孝行と火災は

灰になる前にけせ

「口と身のはたらきとは似するものなり。心根がよくなりがたきものなり。涯分心の方を嗜みまうすべきことなりと云々」

—(蓮如上人御一代記聞書

末百三十九条)—

合掌



## 仏教壮年会の活動と

### 会員の増強について

小樽別院仏教 壮年会 会長 辻井 聡克



私達の仏教壮年会は、真宗教義発展の為、本山において昭和五十四年宗則により定められ発足したものであります。

当別院壮年会は発足以来十二年を経過しておりますが、宗則決定の以前から、仏教青年会より年齢の枠を越えた人が集まり、壮年会を独自に組織して活動して参りました。

初代会長には、本願寺小樽別院の現総代であり、壮年会の相談役でもある小紙文隆氏が就任して、活発な活動をされておられました。

この間約十年、別院行事に参加して参りましたが、今では会員の年齢も壮年から熟年に進んでまいりました。

会員もそれぞれ社会において立派に活躍されており、一方定年を迎えて、尚仕事に励んでいる方も沢山おられます。

又、毎月の例会日6日には、十数名の方が集まり、勤行の後、法話を聴聞して日常の糧と信心の深まらんことを、話し合いの中で生

み出してあります。

年間の行事についても多種多様で、仏教全国大会(京都)、北海道教区の総会、研修会と、さらには、全道で一年おきに開催される教区主催の研修会の参加、本年は、第三回北海道教区仏教壮年会研修大会が、去る六月二十五日、二十六日の両日、本願寺帯広別院にて開催され、当会も一三名が参加し、研修会、各単位の仏社員との交流を持ち、楽しい一時を過ごしてまいりました。

別院の行事としては、五月の降誕会、八月お盆の奉仕、十月の報恩講修行の際、門信徒の皆様が気持ち良くお参りできるように、境内の清掃、設営、奉仕を行っております。

今年は、若さを強調してみようと考えて、お揃いのブレザーを新調し、別院行事の際着用し、壮年会をアピールしたいと考えております。

門信徒の皆様の大なるご支援を賜り、一人でも多くの方々に、当仏教壮年会に入会して頂き、より一層、宗門及び別院の発展に寄与いたしたく念じております。

合掌

3分間の心のともしび

TEL 27-1616

小樽別院テレフォン法話

24時間いつでもどうぞ

毎月1日・16日に  
内容が変わります





# 別院と私

責任総代 渡邊徳次郎



別院と渡邊家の関わり合いは、先代が母の供養にと旧納骨堂のご本尊を寄進させて頂いたご縁からです。

私との関わり合いは、第十九代輪番渡邊静波様が「新納骨堂と共に幼稚園を新築したいのですが松川本山参与の同意を得られず困っています。つきましては、祖父に旧納骨堂のご本尊を寄進して頂いたので、貴方も新納骨堂のご本尊を寄進してほしい」との申し入れを引き受けたご縁で、その後設計から建築完成検査まで全て相談に預かりました。

そのご縁で渡邊静波様の人柄識見について素晴らしい人物と認知していましたが、その一年後龍谷大学の事務局に転出され龍谷大学の新築を完成され、本山の総務を経て総長(国に喩えれば総理大臣の要職です)に就任され、現在は自坊で活躍中との事、同慶の次第です。

昭和五十三年伝灯奉告法要で別院の要請で第二十二代重藤輪番様

と同道し、国宝に指定されている大広間で会食でき又、渡邊静波総務様とお会いできましたことは一生の思い出となりました。

私が御門主様より総代を委嘱されたのは昭和五十八年です。責任役員竹田清治、総代高山隆行、長谷川才一、毛利悌雄、高橋米蔵、吉村伝次郎、松川行雄、各氏と渡邊徳次郎でした。

その後責任総代竹田清治さんがお亡くなりになり、昭和六十二年五月十一日、責任総代長谷川才一さんが委嘱されました。責任総代長谷川才一、総代毛利悌雄、高橋米蔵、松川行雄、宮本勇三、小紙文隆各氏と渡邊徳次郎でした。

その後長谷川才一さんがお亡くなりになり、平成元年十二月二十五日御門主様より私が責任総代を委嘱されました。総代高橋米蔵、宮本勇三、小紙文隆、北川紋二、竹田栄治、長谷川博俊各氏です。

私が責任総代を委嘱された後、平成二年春頃よりヤマハのキロロリゾート開発計画の一部として赤井川の山林の交換を申し込まれ何回かの折衝で平成五年春に相当優位な条件で御門主様の許可を受けて契約しました。

私も御門主様より責任総代を拝命致しましたが、現職のため思うように尽力できず心苦しく感じています。今後は子供に職を譲り責任総代としてその任に当たりたいと考えております。 合 掌

# 小さな命に子供たちは?

カブスカ ウツ隊長 岡本 広由

カブスカウトでは、「いつも元気!」をモットーにして活動しています。そうした日々の活動の中において、様々なことが起こります。

去る三月のことでした。「小樽の町を知ろう」というテーマで活動していて海岸の方に行つたときのことです。私は浜辺の隅で、カモメらしき鳥が衰弱して横たわっているのを見つけました。ちょうどハトくらいのもので、自力で飛ぶことも歩くことも出来ない状態でした。その鳥を見た子供たちは、「隊長、この鳥を助けてあげて」と声を揃えて頼んできました。

私は、「これも自然の掟なんだよ」と、なかば逃げ言葉のように子供たちに返事をしました。しかし、「僕達に出来る事ならなんでもするから隊長、お願い」という子供たちの言葉と涙ぐんだ目におされ、私は獣医さんの所に連れていきました。しかし「野鳥は診ることが出来ない」と言われました。

そこで「野鳥の会」の方を紹介してもらい、保護してくれるように頼みました。そしてその鳥が、海すずめという鳥であること、前日の嵐に巻き込まれたらしいことを教えてもらいました。

たが、私は精一杯の事が出来たと思いました。子供たちも息を切らしながら、喜びに満ちた表情を見せていました。

我々大人達にしてみれば、その鳥の命は小さな命にすぎないのですが、子供達にしてみれば大切な命であり、仲間の命のひとつなのです。私は鳥の命を通して、命の尊さを子供達に教えられた様な気がしました。子供達から、貴重な教訓を得た出来事でした。



## 1994年 年回表(平成6年度)

50	33	27	23	17	13	7	3	1
回	回	回	回	回	回	回	回	周
忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌
昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	平	平
和	和	和	和	和	和	和	成	成
20	37	43	47	53	57	63	4	5
年	年	年	年	年	年	年	年	年

土木建築請負

北海道知事許可 般後第225号  
建築事務所登録 後 第129号

**株カネタ 田中組**

代表取締役 田中 修次

TEL 33-7575  
稲穂5-10-18

おいしさ広がる手作りの味

アン  
**里 季 庵**

朝里2丁目13番15号  
朝里十字街  
☎54-6127

生花を使って花祭壇

**札樽葬祭株**

TEL34-0444  
若松1-9-10

花の店 **カトリア**(有)

TEL 23-6487  
奥沢1-17-3

仕出し御料理

**とも居**

小樽市花園4丁目19番14号  
☎ 23-2267



### 土曜学校生徒募集

仏の教えに基き、明るい子供を育てることを目的とした学校です。

対象 小学1年～6年の男・女  
日時 毎月第2土曜日  
午前9時30分より1時間  
場所 本願寺小樽別院(西別院)  
小樽市若松1-4-17  
☎22-0744

お問い合わせ等は西別院坂上まで。

### おつとめ教室

#### 参加者募集中!

期日: 第1・第3月曜日  
時間: 午後3～4時  
場所: 別院  
内容: 日常のおつとめ、意識、作法等の練習、その他  
★費用は無料ですので、お問い合わせの上、お気軽にご参加下さい。

### ご 案 内

#### 小樽別院

☎0134-22-0744  
お晨朝 毎朝6時30分

#### 常例布教

毎月7日-11日巡回布教使  
13日-16日巡回布教使

#### 同 事 食

毎月8日 正午より

#### 仏教青年会

毎月1回開催  
午後6時より

#### 仏教婦人会

毎月27日 正午  
(おときあり)

#### 仏教壮年会

毎月6日 午後7時

#### アソカ会

毎月16日 正午

#### おつとめ教室

毎月第1・3月曜日  
午後3時より

#### ボーイ・スカウト

毎月3回 土曜日  
午後2時より

#### 日曜仏教講座

毎月第1・3日曜日  
9時30分より

#### 十 九 日 講

毎月 19日正午より

#### 各説教所の案内

- 奥沢説教所  
樹心会 5日午後7時より  
唯信講 10日正午より
- 若竹説教所  
彰心会 7日午後7時より
- 緑説教所  
無量講 9日午後6時より
- 新光説教所  
法友会 13日午後6時より

### 歎異鈔の輪読

アソカ会(若婦人会)では、「お聖教に目を通しましょう」との呼び掛けで、毎月十六日(宗祖聖人ご命日)正午から一時まで歎異鈔の輪読会を開いており大変喜ばれております。

この機会に会員に限らず一人でも多く、歎異鈔原文のの輪読を通して、親鸞様のみ教えを一層深く味あわせて頂きましょう。テキストは原文と現代文と字釈からなっており、用意してございますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

アソカ会担当者より

### 別院の顔



谷 教昭(承仕)  
昭和42年3月13日生  
27才 A型

中央仏教学院を卒業後、本山の勤式指導所にて勉強、平成元年九月より小樽別院に勤務。趣味の無線などで広まる顔の広さは、別院の職員の中でも一番か? 日高管内門別町出身。

平成六年四月より若竹説教所主任。

※谷先生は平成六年五月三十日付で第三級アマチュア無線技士の国家試験に合格されました。おめでとうございます。

### ▼お知らせ

#### 籠谷真知子先生講演会

(京都女子大学教授)

- 一、日時 七月十六日(出) 午前十時より
  - 一、講題 蓮如上人の日常生活と女性観
  - 一、会場 別院会館ホール
- お問い合わせの上、是非ご参集頂きますようお願い申し上げます。

### 御門徒の顔



佐々木アキさん  
大正4年11月15日生  
B型

小樽生まれの小樽育ち。昭和52年に御主人を亡くし、それを御縁にお晨朝に参拝しました。それ以来十年以上毎朝お晨朝に通っておられる。又、仏教婦人会、十九日講などでも活躍なさっている熱心な信者であられる。

とうりゅう  
もくぞう  
えぞう  
えぞう  
みょうごう  
当流には、木像よりは絵像、絵像よりは名号といふなり。

—蓮如上人御一代記聞書—